

「クラシノコアゲ応援団」福島県中央街頭行動第6弾

「日本の社会保障が崩壊する危険さえある！」

～貧困の連鎖スパイラルに歯止めをかけよう～



主催者代表挨拶をする連合福島今泉会長

クスの産業政策は雇用政策に結びついておらず、労働者の3人に1人が非正規社員となっている。そのことが日本の貧困社会を増幅させ、貧困の連鎖問題となって社会の大きな損失に結びつき、この先、20～30年後には日本の社会保障が崩壊する危険さえある。私たちは10年、20年先を見据えて一緒に考え一緒に行動して、なんとしても貧困の連鎖スパイラルに歯止めをかけ、この国の、そしてこの福島県の復興創生に結びつけて行きたい。」と、訴えた。



飛田社民党県連副代表

て、現況報告とアピールがなされた。

また、道行く人へクラシノコアゲ応援団のチラシが入ったティッシュ配布を行って、連合が取り組んでいる活動に対して、市民の皆さんに理解と協力を求めた。



力強いガンバロー三唱で締める

クラシノコアゲ応援団・2016街頭行動第6弾は、9月1日午後4時30分からJR福島駅東口（中合前）にて、連合福島主催で連合福島の役員が中心となって開催された。

冒頭に主催者を代表して今泉裕連合福島会長が挨拶し、

「経済の役割は働く人の雇用を確保し、賃金格差の圧縮を図ることにあるが、それらは総て政治の役割とも結びついており、アベノミ



金子民進党県連代表代行

の、そしてこの福島県の復興創生に結びつけて行きたい。」と、訴えた。

その後、民進党福島県連代表代行の金子恵美衆議院議員と社民党福島県連の飛田義昭副代表と福島県高齢退職者連合の大倉冬樹会長から、応援と激励のご挨拶を頂いた。さらに、連合福島の今野泰副会長と地域からの声として、南波和春県南地域担当部長からクラシノコアゲ応援団として



大倉県高退連会長

最後に連合福島加藤光一事務局長の力強いガンバロー三唱で、街宣行動は締められた。



今こそ暮らしの底上げを！